

令和5年度 食と健康フォーラムのご案内

テーマ「災害時における栄養管理・食支援」

主催 三重県・三重県歯科医師会
日時 令和6年2月25日(日) 午後1時30分～午後3時30分
参加方法 ◎Web受講 ※Zoomウェビナーを使用
◎会場受講 (会場：三重県歯科医師会館 津市桜橋2丁目120-2)
対象 医療関係者、管理栄養士、栄養士、教育関係者、介護関係者、行政関係者等
プログラム

13:30	開会	挨拶 三重県歯科医師会 副会長 福森 哲也
13:40～	講演	「日本栄養士会災害支援チーム(JDA-DAT)をご存じですか？」 鈴鹿医療科学大学保健衛生学部 医療栄養学科 准教授 大槻 誠 氏
	質疑応答	
15:05～	取組発表	「非常事態における嚥下障害への関わり」 独立行政法人国立病院機構 三重中央医療センター 言語聴覚士 梅原 健 氏
	質疑応答	
15:30	閉会	

申込方法等 ◎Web受講の場合
必ず期日までに、下記URL または QRコードから
お申込みください。
URL <https://forms.gle/CVGFdp1dGfTsCtJw9>
登録されたメールアドレス宛、2月中旬に
視聴方法等の詳細をご連絡いたします。

<QRコード>



◎会場受講の場合 <定員：150名>
必ず期日までに、下記、参加申込書にてお申込みください。
※先着順(定員を超え、受講できない場合に限り連絡をいたします。)

申込締切 令和6年2月13日(火) <参加無料>

※感染症の流行や悪天候等により、やむなく中止となる場合は、当日の午前9時までに三重県歯科医師会ホームページに掲載します。

※三重県歯科衛生士会会員で、日本歯科衛生士会第5次生涯研修制度に基づき受講単位の申請を希望される方は参加申込時にご連絡ください。尚、申請にあたり三重県歯科衛生士会に氏名を連絡しますのでご了承ください。

令和5年度 食と健康フォーラム 参加申込書 (会場受講用)

所属		電話	- -
氏名	ふりがな ()	職種	
三重県歯科衛生士会会員で、日本歯科衛生士会第5次生涯研修制度に基づき受講単位の申請を希望される方はチェック☑を入れ、会員番号を記入してください(三重県歯科衛生士会経由)			<input type="checkbox"/> (会員番号)

<お申込み・お問合せ> 三重県歯科医師会事務局 FAX 059-227-0510

TEL059-227-6488 / 〒514-0003 津市桜橋2丁目120-2

講演

「日本栄養士会災害支援チーム(JDA-DAT)をご存じですか？」

鈴鹿医療科学大学保健衛生学部医療栄養学科 准教授 大槻 誠 氏

公益社団法人日本栄養士会では、2011年3月に発災した東日本大震災をきっかけに、大規模自然災害発生時、迅速に被災地での栄養・食生活支援活動を行うための「日本栄養士会災害支援チーム（JDA-DAT： The Japan Dietetic Association-Disaster Assistance Team）」を2012年1月に設置し、運営しています。

JDA-DATは都道府県栄養士会ごとに編成され、災害が発生した際は被災した都道府県栄養士会が支援活動を行います。大規模な災害の場合は被災していない都道府県栄養士会がJDA-DATを派遣して支援活動を行う体制が構築されています。なお、JDA-DATは、都道府県栄養士会が育成する「JDA-DATスタッフ」と、日本栄養士会が育成する「JDA-DATリーダー」で構成されており、公益社団法人三重県栄養士会におきましても2023年10月現在、リーダー13名、スタッフ40名が登録されています。

JDA-DATの主な支援活動は、被災地での高齢者や妊婦・乳児などの要配慮者等への栄養指導等の支援や特殊な栄養補給食品等の提供を行う「特殊栄養食品ステーション」の設置によるプル型支援等になります。また、2022年7月には厚生労働省より、都道府県知事に対する「大規模災害時の保健医療福祉活動に係る体制の整備について」の通知で、保健医療福祉調整本部を設置する際の連絡窓口とする対象チームにDMATなどと同様にJDA-DATが加わり、支援活動の環境が整備され益々期待が高まっています。

【略歴】

1998年3月鈴鹿医療科学大学、保健衛生学部、医療栄養学科 卒業、2001年3月鈴鹿医療科学大学大学院、保健衛生学研究科、医療栄養学専攻 修了、2007年3月三重大学大学院、生物資源研究科、博士後期課程 修了。2002年より鈴鹿医療科学大学 医療栄養学科 助手、助教を経て現在は鈴鹿医療科学大学 医療栄養学科 准教授。また、2019年より津市立三重短期大学 食物栄養学科にて「公衆衛生学」、「公衆栄養学」の非常勤講師も担当。

【専門分野】

公衆栄養学、栄養疫学、栄養学

【資格、免許等】

博士（学術）、管理栄養士、日本栄養士会災害支援チーム（JDA-DAT）リーダー、日本公衆衛生学会認定専門家（認定専門家番号940）

【委員等】

日本栄養改善学会評議員、三重県栄養士会災害対策委員、三重県ラグビーフットボール協会理事

取組発表

「非常事態における嚥下障害への関わり」

独立行政法人国立病院機構 三重中央医療センター 言語聴覚士 梅原 健 氏

近年、嚥下障害を抱える人々が増えている中で、大規模災害や緊急事態が起こると、食事の準備と摂取が大きな問題となっています。特に、災害発生時における食の安全性とアクセスの問題は、書籍や研究文献での議論が増え、より多くの注意が払われるようになってきました。この状況は、災害時の食事支援の重要性を浮き彫りにしています。

私は、災害リハビリテーション団体であるJRATの一員として、さまざまな被災地での支援活動に従事してきました。ここでは、嚥下障害者への食事提供の経験、そこで直面した問題点、そして実際に施した工夫や解決策を共有し、今後の改善に役立てたいと考えております。

【略歴】

2010年3月北海道医療大学卒業、2018年3月神戸大学大学院保健学研究科博士前期課程卒業、2024年3月神戸大学大学院保健学研究科博士後期課程卒業予定

【職歴】

2010年4月～2011年3月圭泉会病院（北海道旭川市）、2011年4月～2016年3月大道会ボバース記念病院（大阪府大阪市）、2016年4月～現在 国立病院機構三重中央医療センター、2018年12月～現在 三重県立こころの医療センター非常勤職員

【専門分野】

バイオメカニクス、サルコペニア/フレイル、摂食嚥下、リハビリテーション/福祉工学、遺伝学

【資格】

保健学修士、言語聴覚士、摂食嚥下リハビリテーション認定士

【委員等】

日本言語聴覚士協会国際部/災害対策部、日本災害リハビリテーションRRT研修企画委員、三重県災害リハビリテーション支援団体副委員長(三重JRAT)、三重県言語聴覚士会理事/災害対策部部长、国立病院言語聴覚士協議会東海北陸代表